

家裕隆教授講演会

(大阪大学 産業科学研究所)

数nmスケール共役材料
分子ワイヤ材料

↓

単分子エレクトロニクス

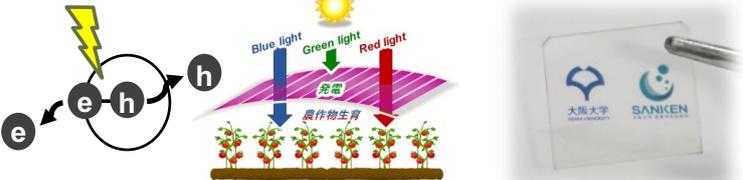


有機半導体材料

励起子調節材料 緑色光波長選択的材料 近赤外光波長選択的材料

↓

太陽電池 農業 農業、窓、自動車、センサー



機能性有機材料への応用を指向した 新規分子の設計と開発

10/29(水)

16:30～18:00

場所：物質生産棟 1 階 161 演習室

概要：有機分子に新たな機能を付与する研究開発が注目を集めています。本講演では、 π 共役分子を基盤としたエレクトロニクスへの応用を中心に、これまでに取り組んできた分子設計とデバイス応用の展開について概説します。具体的には、単分子エレクトロニクス応用に向けた分子ワイヤ設計、有機太陽電池に向けた新機軸の有機半導体材料開発と農業利用、さらに、近赤外光応答を活用した無色透明デバイス開発などを取り上げ、それぞれの研究成果と今後の展望を紹介します。加えて、最近新たに着手している表面改質材料の研究についても紹介し、機能性有機分子の幅広い応用可能性について概説します。

主催：理学部理学科化学プログラム

共催：ユビキタスグリーンケミカルエネルギー連携教育研究センター

連絡先：大学院自然科学研究科 岩本 啓

Tel&FAX：025-262-6363

e-mail：iwamoto@chem.sc.niigata-u.ac.jp